

刊夕日一十月六



定価 一冊五銭 一月五拾五銭 半年二圓二角五分 一年四圓二角五分
 発行所 常盤寺日新聞社 電話 六三〇〇
 印刷所 常盤寺日新聞社 電話 六三〇〇

本能の調節 [六]

醫學博士 諸橋 鐵彌

子供の生活する主な社会團體は先づ家庭であります。將來廣い社会の一員として働く時の態度は家庭に於いて先づ準備せられます。家庭に於ける權威である親に對する態度は國家社會に於ける權威に對する態度の準備となる事が多う御座います。あまりに親に頼り過ぎる長じた子供は社會に出ても權威に頼り過ぎる傾きを生じます。日本人が政府に頼り過ぎる傾きのあるのも一つはこんな所から來て居るかも知れません。度が過ぎると社會に於ても甘んじて人頼りな寄生蟲的生活をする事になります。親に對する不平、反抗心は世の權威に對する反抗の源ともなおります。親が餘り嚴格であつても子供の心に密に反抗心が醸成せられ、學校へ入つても先生に、社會へ出ても其權威に反抗する傾きを生ずる事があります。嚴格な家庭から左傾主義者を生ずる例がよくありますが、此は心理學的に不思議な現象ではありませぬ反之親が上記の様に餘り甘くてもあらゆる權威への反抗心を助長します。上に述べました

場合は、親が子をいつ迄も頼りなく見、世話をやき過ぎる事から反抗心を助長したのであります。親の甘さは又此積極的な甘さでなく消極的な甘さの形を取る事があります。即ち何でも子供の云ひなり次第にしてやる事です。人は無抵抗なもの、存在を忘れるものでありますから、子供は自分の意の通りになつて呉れる無抵抗な親の人格を自ら無視し親の心持に著しく鈍感になります。此がつのると親を苦しめる事を何んとも思はなくなり、甘い母親に對する道樂息子の態度は多くそれであります。かう云ふ態度は又延いて他人のおもはくをも考へない態度や世の權威を甘く見る態度にもなります。今我國は思想の悪化におびえて居ますが、言論の取締りや主義者の檢舉などは未の末でありまして、根本的對策は其根源を直す事なればなりません。それは社會組織の缺陷の矯正や深い根底からの健全な思想の振興等も大いに必要であります。上に親子の關係と云ふ方面から此点につき注意すべき事項に論及して置きました。實際問題になり

ますと、各自の家庭の事情や子供の個性に應じて其具體的な遣口を工夫して行かなければなりません。此は難しい仕事ですが、世の親達が國家社會に對して負ふ重大な義務と云つてもよく其見事な遂行は世の中に對する立派な貢獻であります。

★0000000000
 ○明日の献立○
 ◎0000000000★

【朝】味噌汁——大根 小付 さやらのき
 【晝】野菜ごつた煮
 【晚】ライスカレー 野菜シチュー

猶慈愛の情は偏狹になり、殊に利己主義的に狭まると、自分の子丈愛し他人の子供は構はないと云ふ様なけちな形になります。此情はもつと廣い形で働く事が出来ず、他の子供に對し働く丈でなく動物の子や小動物に對しても働きます。子供の無い人が犬や猫を子供の様に愛するのをよく見受けますが之は、慈愛傾性が本來相當に廣く働ける事を示すものであります。其上植物の苗木などを子供を育てる様な愛情で世話する人すらあります。其上慈愛の情はあらゆる頼りのないものにも働きかけます。従つて此情

は教育事業や、慈善事業の大事な根底となるものであります。かくて親子の關係

はある意味に於ては、變廣なものになり得るのであります。 [終]

新發賣一文字帽!!

絶体日焦げせず 雨にも丈夫な
 いつも新しい 實用新案帽
 エバー・ニユー・ストロト
 四菱編 五〇ヨリ
 支那麥編 六〇ヨリ
 お電話次第御覽に入れます
 田町通り
玉屋洋品店
 電話六五六番

電話新設

三三〇二番

お魚の御用命は是非弊店へ
 平町四丁目
鮮海産 生田日魚店

看護婦急派
 求めに應じます
 平町南町
平看護婦會
 電話三〇七番

初夏から盛夏への
 涼味と美趣に輝く
 新鮮なる洋品……

パナマ帽
 麥稈帽子
 パラソル
 繪日傘
 ・新趣味扇子陳列・

ツルヤ 電一四〇

御參詣團體募集

柳津。日光團體定員超過に付第二一回募集

一、柳津虚空藏尊(猪苗代湖白虎隊廻り) 金一圓也
 申込切 六月九日
 出 發 六月十日午前四時

一、鹽釜神社(竹駒稻荷參拜) 仙臺正宗公三百
 貸切自動車賃御一名様 金貳圓八十錢
 六月十三日切 十四日午前二時出發

一、日 光(笠間稻荷廻り)
 申込切 六月十五日
 出 發 六月十六日午前一時

定員各車共二十二名
 定員未滿ノ節ハ勝手ニラ延期致ス事モアリマス
 尙御希望ニ依リ各種團體モ御相談ニ應ジマス

主催 **尼子遊覽部**
 電話六四〇番

株債券

株式賣買ノ忠實ナル御相談相手トシテ
 御利用下さい

尙御希望ノ方ニハ當店獨特ノ「野線上ヨリ見タル
 新東觀測」ヲ御送シマス是非一度御覽ヲ願ヒマス
 株式債券現物賣買

丸井株式店
 平町田町 七十三
 電話 四六番

外務員募集

安藝博士等の一行

小名濱港を視察

併せて振興座談會を開く

既報来る十三日小名濱港視察に來郡する東北港灣振興調査委員會の委員長堀切善次郎氏及び工學博士安藝杏一氏大阪商船監査役末永三三氏等の一行は十四日小名濱港を視察後午後三時から

伏見宮御乘艦の

軍艦「那珂」歓迎

小名濱町の賑ひ

既報本年度海軍艦上点呼の爲め本月十四日小名濱に入港する軍艦那珂歓迎の爲め小名濱町では十五日午後点呼終了後艦長醍醐侯爵を初め副長として御勤務遊ばされる伏見宮博義王殿下外同

縣立高女の先生が

家事科打合會

十四、五兩日磐女校で

縣下高等女學校家事科擔任教員打合會は来る十四、五の兩日磐城高女で開催第一日は午後一時半より協議談話問題の打合第二日は磐女校内村理(割烹)野口(染)色(兩女史)の授業研究を行

教授を理科への連絡(磐女)家事科訓練と日本精神訓練との關係(安女)

磐女排球戰

生徒軍振ふ

磐城高等女學校排球部選手對職員選抜組の排球試合は今十一日午後零時から同校々庭で催されたが娘子軍の活躍物凄く接戦を續けオールワンで引分けとなつた

紫雲英獎勵

縣農會では本年の九年度紫雲英共同採種獎勵金として近く五圓に十五圓を交附する

大瀧橋入札

平土木監督所は川前村地内下大瀧橋の復舊工事を起すべく来る十三日午前十時から同所内て入札を行ふ

縣教育會總會

十五、六兩日磐中で

文理大學長講演

縣教育總會は十五、六兩日これに先立ち十五日は師範學校同窓會を何れも平町磐城中等學校講堂に開催する事既報の如く今大會には伊藤知事を教育會總理に推戴會長には諸橋學務部長以下役員は改選ある筈當日の出席者は知事、學務部長以下縣下各小學校長、中小校教職員その他教育關係者二千餘名で非常な盛會を豫想され

検事長來平

あす事務視察に

宮城控訴検事長和田良平氏併に福島地方裁判所後藤藤正は司法事務視察の爲め明十二日午後零時卅分來平する

平二研究教授

平第二小學校では今十一日第二校時より高二の三古市訓導

の研究教授を行つた

平町人幸

△彌宜町一〇渡邊秀吉(六三)さん
△大工町一三柴田みを(七四)

平職業紹介所報告

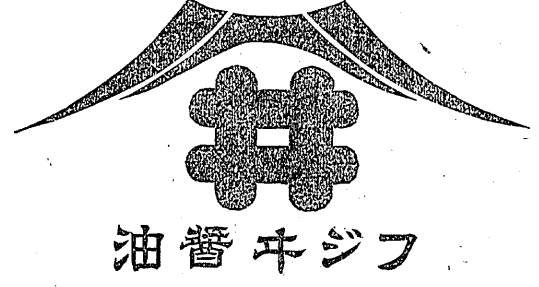
回人を求める方
△農夫 三十以下 日給七十錢
△女店員 二十五才 尋卒
△女中 四十才 尋卒
△鐵道人夫 五十才 日給七十錢
△職を求めめる方
△自動車助手 二十才 高卒
△漁業雜夫 二十七才 尋卒
△火夫 三十八才 尋三修
△土木技師 三十才 攻玉
△社工業卒

東京短期(前場)

期	米	期	米
一期	三三三	二期	三三三
二期	三三三	三期	三三三
三期	三三三	四期	三三三
四期	三三三	五期	三三三
五期	三三三	六期	三三三
六期	三三三	七期	三三三
七期	三三三	八期	三三三
八期	三三三	九期	三三三

景品付大賣出

景品 九升詰壹樽御買上毎二優
良化粧石鹼二ヶ入壹箱
特賣期間 自六月五日
至七月卅日



平出張所開設記念

水戸井傳醬油特賣

定	價
最上	三圓九十錢
次	三圓三十錢
並	一圓八十錢

平町田町
井傳醬油出張所
電話 四六番

水戸市井傳醬油醸造元
特約店御希望の方へ御報次第參上

大風呂敷を背負つた

白晝の怪盗??

警官オートバイで追跡

異風景・平署の捕物陣

十一日午前九時頃平町四丁目入江陶器店で店員が朝食の爲め奥へ引つ込んだ際店の先きを徘徊して居た商人風の男が矢庭に洋皿十数枚を窃取大風呂敷に包み自轉車で逃走したのを通行人が發

見平署に届出たので大谷刑事がオートバイで追跡し續瞬前で取押へたが同人は勿來町出倉炭礦居住文房具商信夫郡佐倉村上名倉生れ阿部力(三)で餘罪あるらしいと

一家四人心中の

母・屍體漂着

さきのう廣野村海岸に之れで全部發見

十日午後二時頃双葉郡廣野村海岸に年齢廿七八位になる女の溺死體が漂着富岡署で検視の結果石城郡大野村字山小屋後藤末太郎方一家心中と見られ捜査中の同人家かねよ(三)の死體と判明したかねよさんは既報の如く次男信雄をおんぶして夫の末太郎さんと別々に四倉町鰐ヶ淵海岸より投身母子心中をしたものと見られ捜査中二日朝首無しの子の死體が夏井村海岸に漂着次いで七日夕方かねよさんのゴム底足袋が四倉海岸に漂着した、養父の吉次

放火老爺に

懲役一年

けふ平區判決

平町舊城跡三無職塚田竹之助(六)が家主の仕打ちに憤慨して平町一丁目腰弓會大弓場へ放火した事件は去る四日平支部清田檢察より懲役二年の求刑あつたが今十

十七娘家出

一日中島裁判長より懲役一年の判決言渡しがあつた

戀のコツクは

殺人未遂

ギヤング飛田の犯行

昨報平署のギヤング狩で昨日檢査された内郷村字御厩生れ當時江名町大字仲ノ作字川岸カフエー濱屋事吉田チン方コック飛田三郎(三)は其後取調の結果去月廿八日情婦である同カフエー女給安達郡二本松町生れ黒川タカ(三)が同町漁船機關手平野三郎と懇ろになつたのを間焼きし平野を殺すのたを料理用庖丁を持つて平野方に暴れ込んだが平野が不在の爲め未遂に終つた事が發覺殺人未遂の事件として引き續き取調中

八ツ坂改修

飯野村で陳情

飯野村では同村小學校前縣道八ツ坂三百米を工費五千万の豫算で改修工事を起工すべく村當局が本日小林平土木監督所長を訪問陳情した

農桑休校

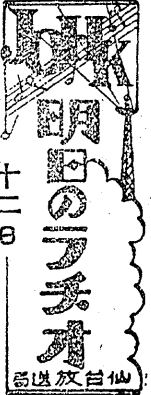
郡下各校で

大浦小學校では去る九日より三週間上級生の農桑休校を行ひ更に來る十七日から下級生の休校を行ふが郡下農村の各校でも本格的な

流産豫防協議會

けふから平署に開催

既報十一日午後一時より平署會議室に開かれる縣衛生課主催の傳染性流産豫防協議會を好機として石城牛乳協會支部では同日午前十時



明日のドラマ 十二日 報 録 氣 天 今晩も明日も南東の風曇り明日は天気次第に良くなる

今晩の部
後六、〇〇 子供の時間 童話「劇日の丸の旗」神戸童話劇協會
後六、二五 青年の時間 「至誠の人西郷隆盛」井野邊茂雄
後七、三〇 趣味講座「趣味から見た古銭」中村不折
明日の部
後八、〇〇 常磐津初戀千種の濡常磐津千歳太夫
後八、四〇 箏曲「那須野」高橋榮清
後八、五〇 歌謡物語深雪物語栗島すみ子
後九、三〇 時報 ニュー氣象通報 番組豫告

六千人を突破した

上子さん

ミス資生堂に平娘

平町地方は由來麗人が出ないといはれた中に是はまた全國から六千人に近い麗人の競争者を吸収した東京銀座資生堂のミス資生堂に見事當選した磐城の近代的麗人が平町から出た全國の麗人を尻目にかつ八人のミス資生堂に選ばれた人は平町役場學務係に勤めて居る山田鐵郎氏の二女上子(三)さんで昨年磐城高女四年在學中家庭の都合で退學し埼玉

平裁判たより

△石城郡江名町大字仲ノ作字榎戸十二漁業吉田喜十(五)は廿四噸五十四馬力石油發動機船第三東丸を使用機船底曲網漁業をして居た處去る四月十八日午後五時同町漁夫田村一郎(三)を一長代理として作業中多賀郡大津町正東六裡にある禁止區域で漁獲せし事發覺漁業法違反で今十一日平區裁判所より略式罰金十が八十圓、一郎が四十圓に處され

毎度有難うございます
野菜サラダ
ピルンキ
喫茶會
コンパル
女給數名募集
平町前新道通り
TEL・666



明治太平記

(無断複製 上段及上段)

(作) 寺島雄史 (筆) 野口

第四百十六回

情 艶 (十三)

市之丞は、一つの、いや一時にふたつの、或る不思議な熱情の胸に去來するのを感じた。良順とおとわに先じて、ウエルズを刺害してやらうと云ふ、そして良順からおとわを、生命を賭しても奪ひ返してやらうといふ、灼けるやうな情熱だった。

『大志賀の旦那』

おふくの良順は、その媚笑のうちに一杯の暗雲をたゝえて、じいと市之丞を見つめた。

『何んだ』
『あなたも、やはりウエルズを……』

『今更ら聞くまでもない』
『ぢや、あなたと競争ですわねえ』

『負けるものか』

『いゝえ、あたしこそおとわの爲めに、きつとウエルズを退治で見せますわ』

『人斬り』

『え』

『ウエルズ退治の競争どころかおとわを、きつと、俺の物にして見せるわ』

『オホ、、、どうぞ』
『何』

『どうぞ、おとわを、出来る事ならあたしから奪つて下さいまし』

良順は、自信ありげに云ひ放つた。

『ようし』

市之丞は急に立上つた。
『あら、急に、ウエルズ』



『うむ、善はいそげだ』

『ところが』

『なに？』

『生憎、今日は、ウエルズは、居りませんのよ』

『どこだ』

『さア、存じませぬわ、オホ、、、』

良順は、空々しく、笑つた。

た。天竺一味だが、今や大志賀は人斬り良順に、むら／＼と敵意を感じた。

『ようし、あくまでも俺に隠す氣だ。それならそれでよい、パークスの來るまで、此場に頑張つて居つておのれが男だと云ふ事をばらしてやらう』

すると又、良順は、紅唇をほころばして、あでやかに笑つた。

『オホ、存分になさいまし……』

『今に、吠面をかくな』

『それは、貴男の事よ其處にさうしてゐらつしやると見』

さう思つて、自分もふと短刀を呑んでをるころにチ

怪しい動きに、ぞつと怖毛が立つた。

『さあ、早く、お歸りでないこの手が十本の指をあなたに肌ふれさせますよ……』

良順はじわ／＼と、惨忍さうに魔手をのべてくる。不思議な妖氣が室一杯に立ちこめて居るのを、市之丞は其の時感じて

『これは、いけない。』

と思つた。しかし上面は一向それに驚く風もみせず

『おのれ、切支丹の様な眞似をするな……なアに、驚くものか、やれるならやつて見』

さう思つて、自分もふと短刀を呑んでをるころにチ

怪しい動きに、ぞつと怖毛が立つた。

『さあ、早く、お歸りでないこの手が十本の指をあなたに肌ふれさせますよ……』

良順は、薄氣味悪く、兩の手の十本の指を百足の様に動かして見せた。

『……』

さては、いよ／＼人斬りの本性を表はして來たな。と思ふと良順の十本の指の

怪しい動きに、ぞつと怖毛が立つた。

『さあ、早く、お歸りでないこの手が十本の指をあなたに肌ふれさせますよ……』

良順はじわ／＼と、惨忍さうに魔手をのべてくる。不思議な妖氣が室一杯に立ちこめて居るのを、市之丞は其の時感じて

『これは、いけない。』

と思つた。しかし上面は一向それに驚く風もみせず

『おのれ、切支丹の様な眞似をするな……なアに、驚くものか、やれるならやつて見』

さう思つて、自分もふと短刀を呑んでをるころにチ

怪しい動きに、ぞつと怖毛が立つた。

『さあ、早く、お歸りでないこの手が十本の指をあなたに肌ふれさせますよ……』

良順は、薄氣味悪く、兩の手の十本の指を百足の様に動かして見せた。

『……』

さては、いよ／＼人斬りの本性を表はして來たな。と思ふと良順の十本の指の

怪しい動きに、ぞつと怖毛が立つた。

『さあ、早く、お歸りでないこの手が十本の指をあなたに肌ふれさせますよ……』

良順は、薄氣味悪く、兩の手の十本の指を百足の様に動かして見せた。

『……』

さては、いよ／＼人斬りの本性を表はして來たな。と思ふと良順の十本の指の

怪しい動きに、ぞつと怖毛が立つた。

『さあ、早く、お歸りでないこの手が十本の指をあなたに肌ふれさせますよ……』

怪しい動きに、ぞつと怖毛が立つた。

『さあ、早く、お歸りでないこの手が十本の指をあなたに肌ふれさせますよ……』

良順はじわ／＼と、惨忍さうに魔手をのべてくる。不思議な妖氣が室一杯に立ちこめて居るのを、市之丞は其の時感じて

『これは、いけない。』

と思つた。しかし上面は一向それに驚く風もみせず

『おのれ、切支丹の様な眞似をするな……なアに、驚くものか、やれるならやつて見』

さう思つて、自分もふと短刀を呑んでをるころにチ

怪しい動きに、ぞつと怖毛が立つた。

『さあ、早く、お歸りでないこの手が十本の指をあなたに肌ふれさせますよ……』

良順は、薄氣味悪く、兩の手の十本の指を百足の様に動かして見せた。

『……』

さては、いよ／＼人斬りの本性を表はして來たな。と思ふと良順の十本の指の

怪しい動きに、ぞつと怖毛が立つた。

『さあ、早く、お歸りでないこの手が十本の指をあなたに肌ふれさせますよ……』

良順は、薄氣味悪く、兩の手の十本の指を百足の様に動かして見せた。

『……』

さては、いよ／＼人斬りの本性を表はして來たな。と思ふと良順の十本の指の

怪しい動きに、ぞつと怖毛が立つた。

『さあ、早く、お歸りでないこの手が十本の指をあなたに肌ふれさせますよ……』

店主が店員を連れて行かれる

正シイ食堂

正シイ喫茶

正シイ酒場

平・田町

レストサロン

電話二五三番

市原醫院

平町・田町

電話一四四番

青葉にむせぶ行樂は……

絶對他に誇る幾多の經驗コース

定評ある旅行者の良きガイド

……先づプランを御相談致しませう……

東京鐵道局公認

不二タクシー

電話三三三番

△東北六縣走破・富士五湖箱根伊豆半島一周等は經驗コースとして獨り吾が保持するところ也△

新車御披露

素晴しい乗心地の!!!

三十五年式流線型新車が参りました

是非御試乗御利用の程を御願申します

平二

三井タクシー

電話六八五番

自轉車は左記

有名車を御撰擇下さい

世界的ニ進出セル

◎宮田ノ自轉車

夙ニ堅牢輕快ノ定評アル

◎ゼブラノ自轉車

實用經濟車トシテ好評アル

◎マーツ號自轉車

◎マーツ號の好評をねたみ羊頭狗肉の策を用ひ偽物を販賣なし商權を侵害なしつゝある者あり法的解決により御得意様の御了解を得ん

宮田代理店 エビスヤ商店

ゼブラ代理店

マーツ代理店

電話六六四

磐城共濟病院 (福島縣平町)

電話六四一四番

院長 山謙郎 (電話六四一四番)

副院長 藤尚輔 (電話三七〇番)

内 科 長 石山謙郎

小 兒 科 長 佐藤尚輔

産 婦 科 長 五十嵐雄二 (電話三七〇番)

婦 人 科 長 大町久藏

外 科 長 前澤正

耳鼻咽喉科 長 山謙郎

皮膚泌尿器病科 長 山謙郎

花柳病科 長 山謙郎

X線科 長 山謙郎

藥物療科 長 山謙郎

藥局 長 山謙郎

事務局長 山謙郎

◎病室完備 入院隨意

中野齒科醫院

院長 日本齒科 中野惠次

日本齒科 西川誠

醫學士 西川誠

一、齒科一般 保存科補綴科 繼續架

一、工科 齒列矯正科 小兒齒科 齒槽膿漏科

一、口腔外科 一、レントゲン科

平町田町(松月堂向ヒ)

電話五〇九番